

戦評用紙

令和元年度 学校総合体育大会バスケットボール埼玉県予選会

令和元年/6/24

会場 本庄シルクドーム Eコート 第3試合
性別 女 決勝

対戦カード	埼玉栄高校	27	—	19	昌平
TOTAL	80	16	—	6	44
		21	—	8	
		16	—	11	

決勝戦は埼玉栄高校対昌平高校の対戦となった。

埼玉栄高校は0・1・2・3・7、昌平高校は4・5・7・8・14がスターティングメンバーで試合が始まる。

お互いにマンツーマンディフェンスで試合に入るが、埼玉栄高校は2の高さを活かしてインサイドを中心に攻める。

また、そこにディフェンスが集中したことによって7の3Pも決まり流れをつかむ。対する昌平高校は埼玉栄高校の高さに苦戦するが、8の攻撃で相手のファールを誘いカウント1スローを得ることに成功する。また交代で入った17の3Pが決まり、流れを戻した。ここで埼玉栄高校は12をコートに入れ、さらに高さが増したところで昌平高校は2-3のゾーンディフェンスに変えた。第1Q終了間際に8が3Pを決めたが、ゲームを優位にすすめる埼玉栄高校が27対19でリードしたまま第1Qを終えた。

第2Qになっても埼玉栄高校の勢いは止まらず、2を中心に攻めることで得点を重ねていった。昌平高校はこのQも相手の高さの前にゴールできない時間帯が長く続いてしまう。それでも7が積極的に1対1を仕掛け、得点を重ねていった。43対25で前半が終了した。

後半になっても試合の流れは変わらず、埼玉栄高校のペースで進んでいく。2にボールを集め、相手のファールを誘ったり、得点していった。ベンチメンバーもコートに入り、積極的にディフェンスをして自分たちのバスケットを徹底しておこなっていた。その中でも8の3Pと13のインサイドプレーは効果的だった。昌平高校も疲れが見える中、全員バスケットで相手の高さに対抗し、自分たちのスタイルを貫いていた。特に7の1対1と全員が打てる3Pは相手にとって脅威となった。ゲームは80対44で埼玉栄高校が勝利し、南九州インターハイの出場権を得た。埼玉県の代表として頑張ってきてもらいたい。昌平高校も準決勝の疲れもあるなか、全員バスケットで戦った。全チーム、3年生お疲れさまでした。

(記録者: 滑川総合高校 細川)